

地方独立行政法人桑名市総合医療センターの
平成 30 事業年度に係る業務実績に関する
評価に対する意見（案）

令和元年 月

地方独立行政法人桑名市総合医療センター評価委員会

年度評価の方法

本評価委員会は、地方独立行政法人桑名市総合医療センター（以下「法人」という。）について、「地方独立行政法人桑名市総合医療センターの業務実績に関する評価の基準」に基づき、法人の第2期中期計画の第5期事業年度である平成30事業年度の業務実績に関する評価を行った。

評価は、項目別評価と全体評価を行い、項目別評価では、法人による自己評価を基に法人へのヒアリングを通じて、自己評価の妥当性や年度計画の進捗状況について、小項目評価及び大項目評価を行った。また、全体評価では、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の進捗状況について、総合的な評価を行った。

I 大項目評価

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

小項目評価の平均点は3.2であり、また以下のことを考慮し、「市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、B評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項 【 ー () 】は中項目番号及び小項目番号

[小項目評価が4の項目]

・【2ー(2)】研修医の受入れ及び育成

初期研修医の受入れについては、法人の定数である11名を受け入れることができたこと。また、後期研修医についても計画値を達成したこと。

・【2ー(3)】看護師の確保及び定着

看護師の確保数が計画値を上回っていること。特に、離職率を7.1%に抑制できたことは、院内保育所を整備し働きやすい環境づくりに努力した結果であると考えられること。

・【4ー(4)】市民への保健医療情報の発信及び普及啓発等

市民公開講座、出前講座の実施、桑名市総合医療センターニュースの発行、桑名市広報への記事の掲載、患者向け教室の開催をしたほか、法人ホームページにて新病院についての情報発信を行ったこと。

[評価委員会で自己評価を4から3に変更した項目]

・【4ー(3)】施設設備の整備及び更新

病院駐車場拡張の検討および医療機器の長期的な更新計画の作成に着手したことについて

ては評価するが、未だ計画の段階であり実施に至っていないこと。

[小項目評価が2の項目]

・【1－(2)】地域医療連携の推進

紹介率、逆紹介率共に計画値を下回っていること。逆紹介率については、昨年度の実績を下回っているおり、現在は対策を行い改善しつつあるとのことだが、もっと早期に対策をとるべきであったこと。

(3) 小項目評価の集計結果

中項目	評価対象 小項目数	5：年度 計画を大 幅に上回 って実施 している	4：年度 計画を上 回って実 施してい る	3：年度 計画を順 調に実施 している	2：年度 計画を十 分に実施 できてい ない	1：年度 計画を大 幅に下回 っている
1 医療の提供	3			2	1	
2 医療水準の向上	3		2	1		
3 患者サービスの一層 の向上	3			3		
4 より安心して信頼でき る質の高い医療の提供	4		1	3		
合計	13		3	9	1	

第2 業務運営や財務管理の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

小項目評価の平均点は3.1であり、また以下のことを考慮し、「業務運営や財務管理の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、B評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項 【 ー () 】は中項目番号及び小項目番号

[小項目評価が4の項目]

・【2－(2)】職員の職務能力の向上

職員の学会や研修への参加と、職務上必要な資格取得の支援を継続したこと。また、三重大学医学部付属病院と協力して研修会や人事交流を行い、職務能力の向上と業務の改善を図ったこと。

・【2－（3）】職員の就労環境の整備

人事労務に関して、臨時職員を含めた職員の業績評価制度の見直しに着手したこと。また、西棟1階に院内保育所を設置したこと。

[小項目評価が2の項目]

・【2－（6）】支出の節減

医業費用について、後発医薬品の使用促進により経費の削減に努めたものの、手術件数の増加に伴い薬品費および診療材料費が増加し計画値を下回る結果になったこと。

(3) 小項目評価の集計結果

中項目	評価対象 小項目数	5：年度 計画を大 幅に上回 って実施 している	4：年度 計画を上 回って実 施してい る	3：年度 計画を順 調に実施 している	2：年度 計画を十 分に実施 できてい ない	1：年度 計画を大 幅に下回 っている
1 地方独立行政法人としての運営管理体制の確立	1			1		
2 効率的かつ効果的な業務運営	6		2	3	1	
合計	7		2	4	1	

II 全体評価

1 評価結果と判断理由

法人の平成30事業年度の業務実績については、2つの大項目評価である「市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「業務運営や財務管理の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」がともにB評価であること、加えて以下の点を考慮し、全体としては中期計画の達成に向け、おおむね計画どおりに進んでいると評価した。

2 全体評価に当たり考慮した事項（大項目評価に当たり考慮した事項以外のもの）

(1) 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

・新病院開院後、病床が400床のフルオープンに至らない状況下での稼働であり、目標達成

が困難な状況であったと考えられること。

- ・地域災害支援病院の指定に向けて、コードブルー訓練の実施と BCP 計画の策定に取り組んでいること。
- ・院内環境の改善については、患者案内や誘導において、市民ボランティアと連携したことにより、利用者からサービスが向上しているという声があること。

(2) 業務運営や財務管理の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・職員の就労環境の整備において、改修工事の完了後、院内保育を開始し、職員の就労環境の整備に努めたこと。
- ・収支については、新病院開院にともなう外的要因も考慮する必要があるが、収益の増加以上に経費が増加していること。

3 評価に当たっての意見、指摘等

- ・医師の確保については、関係機関との連携強化に努めているが、一般的に医療の高度化や細分化により医師が充足することは少なく、医師の地域偏在や診療科偏在も進んでいる状況であるため、今後も努力をしてもらいたい。
- ・会計待ち時間の実測調査を行っているが、受付から会計までの待ち時間の調査についても検討してもらいたい。
- ・病院駐車場を拡張することであるが、送迎の車やタクシーが一時的に駐車場内へ乗り入れできるようにするなど、駐車場の運用方法についても検討してもらいたい。
- ・今後も経費の削減と病床稼働率の向上についての対策を行い、収支の改善に努めてもらいたい。
- ・救急の受入れや病床稼働率の向上に努めることも重要であるが、職員の労働管理など働き方改革にも対策が必要である。